

〈令和3年度〉ミライカナエル活動サポート事業 協働コース（行政との協働）

団体名	特定非営利活動法人 自立生活サポートセンター・もやい
協働相手	藤沢市 地域共生社会推進室
事業名	孤立状態にある人と共に生きるための畑作り
事業期間	2021 年（令和 3 年）4 月 1 日～2022 年（令和 4 年）3 月 31 日〈事業 1 年目〉
事業費	920,418 円（うち藤沢市負担金 920,418 円）
事業の目的 誰一人として取り残されない社会にしたい。孤立状態から抜け出すための「畑」を使った地域での仕組みが継続して運用され、誰もが何かしらの役割をもち、地域や社会の中で、助け合い、ともに生きていけるようになること。そして、このモデルが他の地域コミュニティにも広がることにより、貧困問題のみならず農業従事者の減少や耕作放棄地の問題など、他の社会問題の解消にも寄与していけるようになること。	
事業の内容と成果・効果 2021 年 4 月 参加者募集のチラシを作成 〈もやい〉ホームページにて畑を告知、活動報告を掲載 畑での活動スタート（毎週木曜日） 2021 年 7 月 農スクール様の見学者受け入れ 2021 年 8 月 BS 朝日の撮影受け入れ 藤沢市市民活動推進機構様のインタビュー受ける 2021 年 9 月 見学会および収穫祭の企画開始 民生委員児童委員協議会会長会での周知 見学会案内および収穫祭チラシ作成 2021 年 10 月 見学会および収穫祭を開催 2021 年 11 月 藤沢市の FM ラジオ広報番組取材対応 参加者への振返りを兼ねたインタビューを実施 2021 年 12 月 NPO 法人フェアスタートサポートのパートナーに登録 2022 年 2 月 遠藤地区「みんなの人生会議」に参加 （成果・結果） 畑の参加者数 延べ 359 名（藤沢市民 41 名） 地域イベントへの参加 1 回（遠藤地区「あなたの人生会議」） 畑を通じたイベント 2 回（見学会/収穫祭）	
事業を実施しての課題・今後の取組 （課題） 1. 地域からの参加者や他団体との連携があまり進んでいない。 2. 畑の魅力を伝えるための発信が少ない。 （今後の取組） 1. 藤沢市から参加者を増やす。 畑でのイベントおよび畑以外のイベントを行い、開催回数を増やす。 民生委員の研修などの受け入れ先になる。他団体との連携を企画していく。 2. 「もやい畑の会」の仕組みづくり 畑の継続にかかせない「もやい畑の会（応援隊）」を 30 口募る。 3. 発信をもっと行っていく。 〈もやい〉のホームページとは別に、もやい畑の専用の活動報告を別サイトで行う。 もやい畑に看板を置く。	



（写真上）見学会にて畑の説明



（写真下）じゃがいもの植えつけ